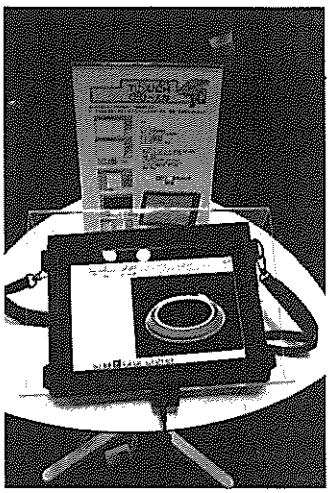
タッチパネル端末を

ジェービーエム（大阪府東大阪市、☎06・6744・7331）は5月13日、タッチパネルでNCデータの編集・描画が可能なタブレット型通信端末「TOUCHぴ～太郎」をリリースした。

できる、10・1インチのマルチタッチパネルを採用。液晶画面上の専用キーボードから入力する「らくらく編集データ描画機能」は、マシニングセンタ、ワイヤー、旋盤に対応しているので、経路長や加工時間の算出するのにも役立つ。

バッテリー内蔵時で重量900㌘と軽く、工場内の移動もスムーズ。Wi・Fi接続すれば、現



10・1インチのマルチタッチパネルを採用。NCデータの文字も楽に見られる（写真＝「2013インターモールド」）

く使える」（同社）という。

USBポートとBlu

マウスを使ったりと、操作環境の快適性にも配慮している。

ライン・デビュー

先日、遅ればせながらガラケーをスマホに代えた。「ガラパゴス携帯」略してガラケー。ガラパゴス諸島は外界と隔絶された孤島だったからこそ生物が独自の進化を遂げ、イグアナやゾウガメの珍しい種が生存している。携帯電話市場で日本はガラパゴス化している、ということらしい。対して

いまの世界標準がスマホ。大都市圏ではガラケーはすでに絶滅危惧種だろうが、筆者の住んでいる地域ではまだガラケーが多数派である。

iモード専用サイト、オサイフケータイ、絵文字、赤外線通信、ワンセグなどが日本の携帯市場特有の文化だそうだ。しかし、そういわれてもガラケーを使っている間は、携帯電話とはそういうもんだと思っているのだからどうもピンと来なかった。スマホにしてみると、たしかにメールの絵文字の世界が少なくなっていて、絵文字に代わるものとしてスタンプというのがある。

スマホはツイッターやフェイスブック、ユーチューブをはじめウェブサイトへのアクセスが容易で、この点、ガラケーとは比べ物にならない。要は、パソコンを持ち歩いているようなものだ。

スマホの普及で爆発的に伸びているサービスが「LINE」だ。英語本来の読みのように「ラ」にアクセントは置かず、若者言葉の常で平板に「ライン」と呼ばれている。アプリをダウンロードするとサービスが開始される。自分のもっている携帯電話番号のアドレス帳をLINEに預けることになるため、やや抵抗感があるけれど、アドレス帳にお互いの番号を

者同士は

紹介され

額サービ

ば、友だ

る。親に

られてい

NEの登

るのはこ

LIN

マホやi

族はすで

NEに「友

るのであ

いるので

中原：金融
集を経
レンジ
ム執筆
たわら
人の子

業関係強化に伴い、欧州内での協業推進に伴い直販体制に移行している。

同社では、「今回のミクロン社買収により、イタリア全地域で直販体制を確立し、顧客との関係をより緊密に構築することが可能となった」としている。

なお、ミクロン社の社員はそのまま雇用し、販売・サポート体制は維持する。

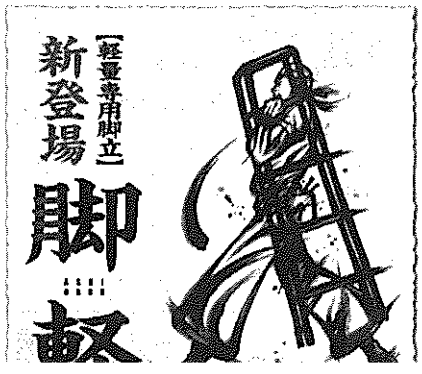
日本物流新聞　２０１３年５月２５日付

2013ゴールデンフェア 産業・機械工業見本市ふくい

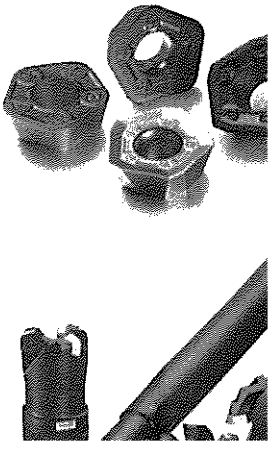
6月1日から県産業会館で　約200社が出展

「2013ゴールデンフェア産業・機械工業見本市ふくい」（主催＝吉岡幸）が6月1日～3日まで福井県産業会館で開催される。約200社が出展する県内最大規模の見本市で、▽工作機械▽切削工具▽測定機器▽環境機器▽マテハン▽建設・土木機器▽管工機材▽住宅設備▽家電・ライフーなど、全館フロアを使って最新・売れ筋商品が並ぶ予定だ。テーマは「元気発進…明日はもっとワンダフル」。福井県機械工業協同組合と福井県管工事業協同組合連合会が後援する。本館多目的ホールに設置する北陸新幹線建設応援コーナーでは、約20社が鋼材、鋼管、土木資材、フェンス、防音壁などを紹介する。

問い合わせ先＝吉岡幸／本社☎0776・22・2211



新

■サンドビック
5コーナ仕様の高送りカッター
低抵抗で節電につなげる

サンドビック（コロマントカンパニー＝名古屋市1-1801、☎052-778-1001）は、低抵抗の高送りカッタル419」を今春発売した。19度の小さな切込み角にたり最大1.1㎜の高送りを可能にした。内部給油対な切りくず排出とチップ寿命の延命化を両立させた。シャープな切れ刃とポジカッターで切削抵抗を抑えて節電につなげる。「他社に比べて、同じ条件下で20%程度の消費電力削減に成功した」という。チップは5コーナ仕様。合わせて、5種類のブレーカを用意することで、あらゆる被削